

炉辺談話(423)

女性会員入会の歴史

ロータリーにおける女性会員の躍進ぶりは目覚ましく、現在 188,000 名の会員、63 名の地区ガバナー、1 名のロータリー財団管理委員と理事を擁する大きな存在となりました。しかしその躍進の陰には、50 年にわたる激しい議論が続いたことを忘れてはなりません。その歴史を過去の規定審議会の議事録から抜粋してみました。

1950 年

1950 年 RI 国際大会で、インドの Ahmedabad RC より、標準ロータリー・クラブ定款から「男性」という言葉を削除するという制定案 50-10 が提案されましたが、否決されました。

1964 年

インドの 305 地区および 315 地区より、女性を名誉会員に選挙出来るよう標準クラブ定款を改正するという制定案 64-5、64-6 が提案されましたが、これらは撤回されました。さらにセイロンの Mount Lavinia RC が女性の入会を認めるという制定案 64-15 を提案しましたが、これも撤回されました。

1972 年

規定審議会に、米国の Upper Manhattan RC が、会員資格の性別に関する制限を排除する制定案 72-48 を提案しましたが、否決されました。

1977 年

1977 年の規定審議会には、女性会員を認める 5 つの制定案が提出されましたが、いずれも否決されました。

77-16 性別による会員資格の制限を禁止する件。アメリカ

77-35 婦人のロータリー・クラブ名誉会員を認める件。 ブラジル

77-70 ロータリー・クラブに婦人の会員を認める件。 インド

77-75 性別による会員資格の制限を禁ずる件。 スウェーデン

77-94 ロータリー・クラブの会員は男子でなければならないとする規定を廃止する件。

インド

1978年

米国カリフォルニア州デュアルテ・ロータリー・クラブは、RI 定款と標準ロータリー・クラブ定款に反して女性の会員を入会させたという理由で、国際ロータリーへの加盟を終結されました。

1980年

制定案 80-50 ロータリー・クラブにおける会員の資格条件に関して、RI 定款・細則ならびに標準ロータリー・クラブ定款から、ロータリー・クラブ会員を男子とする文言をすべて抹消して婦人の入会を認めるか否かをクラブの選択に委せるという提案が提出されましたが否決されました。

1983年

デュアルテ・クラブが起こした訴訟で、カリフォルニア州最高裁判所は国際ロータリーを支持する判決を下しました。

規定審議会において制定案 83-122 国際ロータリー定款・細則および標準ロータリー・クラブ定款から、ロータリー・クラブの会員を男子とすると記載しているすべての文言を削除する提案が、米国メイン州エルズワース RC 他より提出されましたが否決されました。

1986年

規定審議会に、制定案 86-136 国際ロータリー定款・細則、標準ロータリー・クラブ定款からロータリー・クラブ会員は男子であると言及した箇所を削除しようという提案が米国ニューヨーク州ブロンクス RC 他から出されましたが否決されました。

1987年

米国連邦最高裁判所は、ロータリー・クラブが性別を理由に女性を会員として拒否することはできないという判決を下しました。

デュアルテ・ロータリー・クラブは1986年9月にさかのぼってRIに復帰加盟しました。

1988年

RI理事会は、カナダにおいても女性会員を入会させる方針を発表しました。

1989年

規定審議会は89-54、89-55、89-56、89-57、89-58、89-59において女性会員の入会を承認しました。

2010.2.11